

令和7年度 秋田介護労働懇談会並びに秋田中央地域介護労働懇談会の開催 秋田支部

開催日時：10月30日(木曜日) 13:30 ~15:30

テーマ・議題

- ①介護現場における外国人の雇用について
- ②介護労働実態調査結果について
- ③関係機関による意見交換・情報共有
- ④その他

秋田労働局、秋田・男鹿・本荘各公共職業安定所、秋田県長寿社会課・雇用労働政策課、秋田・由利地域振興局、秋田市、男鹿市、潟上市、由利本荘市、にかほ市、八郎潟町、大潟村、本荘由利広域市町村圏組合、秋田商工会議所、男鹿市商工会、秋田県老人福祉施設協議会、秋田県介護支援専門員協会、秋田県認知症グループホーム連絡協議会、あきた在宅介護サービス連絡協議会、全国介護事業者連盟秋田支部、日赤東北看護大学介護福祉短期大学部、ポリテクセンター秋田、秋田県社会福祉経営者協議会、秋田県・由利本荘市・にかほ市・五城目町社会福祉協議会、全国介護事業者連盟秋田県支部、外国人材受入サポートセンター、介護労働安定センター秋田支部



- 1.介護現場における外国人の雇用について
- 2.介護労働実態調査結果について
- 3.関係機関による意見交換・情報共有

○秋田県(長寿社会課):介護人材確保対策事業。外国人介護人材誘致促進。介護職員等資質向上研修。介護業務改善推進(総合相談センター委託、介護テクノロジー導入補助内示済)。処遇改善加算の取得促進(未取得・上位区分取得へ個別相談、安定センターへ委託)。訪問介護等体制確保支援。外国人等介護従事者受入環境整備事業。月末まで計画募集、枠残りあり。早期申請を推奨。

○秋田労働局:外国人雇用管理の相談・助成、企業訪問、アドバイザー派遣。地域別の需給状況共有(秋田市外では利用者減による経営厳しさも)。

○ハローワーク秋田:介護の分野希望・就職者は、例年に比べて減っていない。一方、警備、保育は求職者が急激に減少。事業所団体等を訪問では、秋田市以外の人口の減少が進んでいる地域において、利用者の不足で経営が厳しくなっている。

○ハローワーク本荘:本荘・由利地域では遠隔地施設の充足難。企業説明会・見学会・セミナー等で業界理解促進。

○日本赤十字東北看護大学介護福祉短期大学部:介護福祉士養成校の日本人入学者が激減(全国で日本人約3,000人、留学生約4,000人に)。地域の養成機関の募集停止・閉校が相次ぐ中、秋田の短大も定員割れ深刻。

○秋田県介護福祉士会:今年度から外国人向けに「介護福祉士国家資格取得支援講座」を開始しました(受講者11名)。この講座は毎年継続予定。

○社会福祉法人経営者協議会:外国人雇用は概ね円滑。日本語・業務レベル高い事例も。2040年の人材不足に備え、戦略的に活用。介護の社会的意義(エッセンシャルワーク)を若年層へ訴求すべき。

○潟上市:小規模事業所では外国人受入初期は日本人の同行支援が必要で短期的には負担増。条件の良い地域へ移動する流出懸念。市として有効な支援の在り方を模索(情報提供・就職相談支援等)。

○秋田県看護協会:中規模病院が看護補助者としてミャンマー人を受入(5名)。住居・家電提供、先輩同国人によるOJT・メンタル支援で定着良好。ただし母国情勢で新規来日の不確実性。

○在宅介護サービス連絡協議会:訪問介護におけるハラスメント実態アンケート(締切11/4)と11/13セミナー開催(介護保険法改正を見据えた展望、ハラスメント情報共有)。

○秋田市役所企業立地課:秋田市資格取得助成事業、日本語資格取得助成事業の紹介

○雇用管理コンサルタント(外国人担当):生活支援を含む地域ぐるみの受入体制・住宅・移動・日本語学習の支援、自治体の日本語試験補助活用、家族帯同を見据えたコミュニティ連携。

○介護労働安定センター:カスタマーハラスメント相談窓口設置(傾向として暴言・暴力は全国比低下、周知の効果)。合同就職面接会(11/14、28社予定)。生産性向上・ICT/介護ロボット導入(補助金活用)支援、職場定着促進

参加団体からのお知らせ・状況報告等

秋田県・労働局で市町村・事業主団体向け「賃上げ緊急支援事業」等のオンライン説明会(11/6)を開催する。下期に民間向け説明会も予定。詳細は雇用環境均等室へ。

事務局(介護労働安定センター 秋田支部)からコメント

お問い合わせは、Tel018-853-5177に御連絡ください。(公財)介護労働安定センター秋田支部